

令和３年度活動報告

「令和３年４月～令和４年３月」

❖【活動目的と具体的事業内容】

当財団は、防犯環境づくりに貢献し犯罪のない安全で安心な国民生活の実現に寄与し、防犯に関する知識・思想の普及啓蒙を図る事を目的として次の（１）～（３）を主とした活動を推進しています。

（１） 防犯の知識・技術普及のためのセミナー・講演の開催

（２） 防犯環境づくりのための調査・研究

（３） 防犯にかかわる情報の収集及び提供

以上の目的を持って、令和３年度の活動を行ったことを報告いたします。

■【令和３年度 活動報告の総括】

従来から当財団は（１）の防犯の知識・技術普及に向けたセミナー・講演の活動に力を入れて活動していたが、コロナ禍の影響からセミナーや講演の活動は中止せざるを得ない状況となっています。そのため令和３年度は活動が少なく寄付金の受入れも少ない年度となりました。また、今年度は大幅な役員の改選や内閣府の立入監査等があったことから、新しい体制に向けた構築や、従来のセミナーに代わる新たな試みなどと、内部の見直しや次年度に向けた土台作りを主とした活動の年度となりました。

■【令和３年度に目標とした活動計画の内容】

- １、 従来型セミナーに代わるセミナーの新企画
- ２、 新しい事業構築
- ３、 ホームページのリニューアル
- ４、 事務所の新規開設
- ５、 寄付者の開拓
- ６、 配布用財団案内の作成

以上が、令和３年度に掲げた事業計画です

■【令和３年度の主な活動内容】

１、従来型セミナーに代わるセミナーの新企画

① 防犯セミナー護身術のPR映像の制作

リアルセミナーの減少に伴い、当財団の特徴である防犯体験セミナーに代わる新しい

試みとして、当財団の専任講師である「西久保博信」を起用して、防犯セミナーの映像配信に向けたPR映像を制作しました。

映像内容は、従来のセミナーでは学校や施設などから要望が多かった「護身術」に焦点をあて、「自分の身は自分で守る護身術」をタイトルとした映像としました。

このPR映像を当財団のホームページやYouTubeに掲載し、ここから体験セミナーへの導入を図り、定期的な体験セミナーや、学校や施設などの出張セミナーに繋がるように企画しています。

また、この定期的な体験セミナーに向けて帝国警備保障株式会社の協力と新宿にある帝国警備保障株式会社の道場の確保も内定できました。

今回の映像制作はPR映像を主とした内容ですが、「自分の身は自分で守る護身術」が、初級編・中級編・上級編と段を追って学べる資格制度の構築に繋がることを視野に入れています。また、当財団の資格制度が、学校、施設、一般オフィス等々で展開していく事を目指しています。（PR映像：別途）

2、新しい事業構築

① 映像学習配信日本一「株式会社コドモン」との提携

保護者や各種施設の職員に向けた映像学習やフォロー展開で、導入施設が9,000以上あるベネッセの子会社「株式会社コドモン」から当財団との提携依頼があり進めています。

2022年10月には、「株式会社コドモン」を利用する保護者や各種施設の職員に向けた防犯セミナーの実施が決まり、当財団のPR映像を活用した防犯セミナーを予定しています。（活動資料1）

② 未来の子供たちに向けた支援事業

令和3年度は予算の少ない中で、大阪のボランティア団体が開催している施設の子供たちに農業体験や防犯講座の体験教室活動への支援を行ってきました。令和4年度は予算をたて、ホームページを活用した公募の形で見直しを検討しています。

（活動資料2）

3、ホームページのリニューアル

懸案であった従来のホームページの改訂は保留となりましたが、未来のこども達への支援事業に向けた新しいホームページ「へいわくらぶ」を開設しました。（活動資料3）「へいわくらぶ」のホームページでは、子供たちへのサポート活動や、「護身術」PR映像を展開できる様になりました。

4、事務所の新設

本年2月、内閣府の立入監査に向けて新橋の事務所から赤坂の仮事務所に移転しました。令和4年度には新しい事務所開設において新体制に向けた活動スタートとなります。

5、寄付者の開拓

令和3年度は、大きな活動もなく寄付金の受け入れも少ない年度でしたが、役員の改選により、これからの期待が持てる体制となりました。

6、配布用財団案内の作成

新事務所の開設、新体制でのスタートをもって財団の案内を作成します。

以上、令和3年度の活動報告となります。